

1. 件名：「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の使用施設における核燃料物質の不適切な管理及び安定化処理の進捗状況」に関する面談

2. 日時：令和2年8月25日（火）13時30分～14時25分

3. 場所：

(1) 原子力規制庁2階会議室

(2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

東海本部

東京事務所

原子力科学研究所

核燃料サイクル工学研究所

大洗研究所

※本面談は、テレビ会議にて実施

4. 出席者

(1) 原子力規制庁

原子力規制部 核燃料施設等監視部門

栗崎企画調査官、木村主任監視指導官、鈴木管理官補佐、小野原子力運転検査官

(2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

部長 他7名

5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）から、核燃料物質の使用施設における核燃料物質の不適切な管理及び大洗研究所燃料研究棟事故後の総点検により抽出した安定化処理を実施する貯蔵容器等の対応に係る進捗状況について、資料に基づき説明があった。

(2) 核燃料物質の不適切な管理については、大洗研究所として令和2年5月28日に処理が完了し、これをもってJAEA各拠点における全ての是正処置が完了したことを聴取した。

(3) 大洗研究所燃料研究棟事故後の総点検により抽出した貯蔵容器等の安定化処理については、溶液に含まれる核燃料物質の安定化処理を実施してきており、全160個中60個の安定化を完了している。令和2年度内に24個、令和3年6月末までに残りの76個の安定化処理を完了する予定であることを聴取した。

(4) 原子力規制庁から、現在実施している貯蔵容器等の安定化処理の状況については、適宜報告するよう申し伝えた。

## 6. 配付資料

### JAEAからの配付資料

- ・「原子力機構における核燃料物質の不適切な管理及び燃研棟事故後の総点検により抽出した安定化処理を実施する貯蔵容器等の対応に係る進捗報告」